



北海道地方

自動車道路開設の促進

空知郡瀧川、濱益間の自動車道路は既に大部分開鑿したが一部分は未完成であるから瀧川、新十津川、濱益の各町村有志は去る十日瀧川村に集合協議を遂げ是非とも本年中に完成を期する決議を爲して促進運動を開始し此際如何なる犠牲を拂つても其の目的を達成せんと非常な意氣込である。

東北地方

大槌川的美観

岩手縣下釜石宮古線縣道大槌川に架けられた震災復舊事業の安渡橋は工費一萬九千萬圓を以て架設中の處前號通報の通愈々完成を告げ景勝大槌川に一つの美觀を添ゆることとなつた。

雄鹿戸峠トンネル待望裡に完成

岩手縣下閉伊郡の郡北七ヶ町村と郡南十八ヶ町村とを結び付け更らに九戸郡郡南地方の開發道として久しく待望せられて居つた岩泉宮古線の峻坂雄鹿戸隧道は工費三十三萬圓で一年八ヶ月の日子を費やし延長五百八十米であるが頗る難工事であつたにも拘はず完工し五月十九日盛大な完成式を舉行した、此トンネルの開通に依つて培養

せらるゝ産業地方は岩泉町、宮古町、茂市村、大川村、刈屋村、山川村、小本村は勿論、下閉伊郡北千古の原始林の開發、岩泉、小川地方の畜牛搾乳事業の躍進、小本方面の大理石の發掘事業は刮目される屈指のものだが、岩泉には名勝湧窟、赤穴があり、各町民を一九として組合製糸が實績をあげ、染織講習所、煉乳會社がありはたごやでは牛乳風呂をたて旅客を歡待、銘酒八量櫻、明星、鮎、鰻などは旅情を慰むるに十分である、小本川の鱒釣り、鮎漁、小本村方面の雉獵などそれ／＼のシーズンには粹人のめがけることは必定、トンネル開通を一劃期に郡北の町村に降り注ぐ惠光は特筆してあまりありといふべきである。

宮城縣船岡大橋の竣工

宮城縣柴田郡船岡村地内縣道の白石川の船岡大橋は工費二萬八千圓を投じ昭和八年十二月着工し施工中であつたが延長百六十八米五幅員四米六の平板式木橋(橋脚鐵筋コンクリート)として完工し五月十五日盛大な開通式を舉行した、同橋は船岡驛より親ノ木町地内國道四號線に至る縣道白石川

に架設したもので従来橋はなく船岡村民は對岸の約六十町の耕地と對岸槻ノ木町から運ぶ材木薪炭等を危き一本の板の假橋で交通し重いものは大河原、槻ノ木兩町を迂回してゐただけに兩岸兩町村民の喜びは非常なものである。

阿武隈川河原に於ける遊歩道

福島縣福島市外の瀟洲湖立記念公園の第二期計畫として阿武隈川畔の豊勝伊達郡明治村から下流の大目岩まで約三百間の河原に遊歩道を設けるため施工したが地元民の努力奉仕として七百名が就勞したので立派なる道路が出来上つた。

關東地方

茨城縣下棚谷街道の完成

茨城縣久慈郡山田村から金砂村に達する棚谷街道改修工事は去る八年初冬着工したが頗る困難な工事で滿一年有半の日子を費し漸く竣工した、工費一萬七千八百圓延長

九百米職員四米五である、其の開通式は五月二日山田村で盛大に舉行した。

茨城千葉間の水郷大橋完工近づく

茨城と千葉との兩縣をつなぐ水郷大橋は工費四十五萬圓を以て昨年二月起工し下部工事は出来て橋脚十五基は水面が其姿を現はし目下上部工事を急いでゐる、其の完工は十月頃となる豫定で茨城縣側の町村道路は完成し千葉縣側も近く竣工する今秋の末にはスツキリしたモダン橋が利根の大川に其の麗姿を出現することとなつた、之れが爲めはやくもバス運轉路の競争が發生し猛烈に運動して居る又附近の地價も高騰し一躍三、四倍の高價を唱へらるゝに至つた。

栃木縣下の自動車遊覽道路

栃木縣下栃木町大平山公園の新遊覽道路は三ヶ年に渉る時局匡救土木事業で錦着山公園裏から見晴臺下を抜けば表參道仁王門前まで貫通したか見晴臺下から仁王門前へは自動車が行きざれず仁王門から謙信平へぬ

けなくては大平山を自動車で一週出来ず遊覽道路の効用をなさないいで残工事を完了する爲めに關係者は奔走中である。

栃木大溪谷の回廊ハイキング道路

日光中禪寺莊嚴瀧壺から大谷川邊を傳うて幸橋に至るハイキング道路を開設中であるが従來四十八折れの難所を登つたが風光絶佳な大溪谷の回廊を歩み大瀑布を觀賞し得ることとなるので各方面から大に完工の日を待望されて居る。

群馬縣の道路改良

群馬縣では本年度事業に屬する道路改良計畫として特に遊覽地開發、自動車道路の整備を主眼として次の如き道路橋梁事業を實現することとなつた。

◇橋梁改築 利根郡新治村今宿橋(三萬圓)
邑樂郡六鄉村本郷橋(五千圓)その他多野郡入野村高橋、利根郡糸之瀬村二重二見橋(五萬圓)群馬郡箕輪町城見橋、室田町、榛名川橋、佐波郡剛志村武士橋、多野郡萬馬場町八雲橋

◇道路鋪裝 前橋市内岩神町地先より大渡橋間(一萬八千圓) 群馬郡澁川町國道十號線筋及び伊香保高崎線筋(一萬一千圓) 高崎市内國道九號線(一萬五千圓) 境町地内境停車場線及び境館林線(八千圓) 忍町地内尾島町地内境館林線(八千圓) 館林地内館林藤岡線と館林佐野線(一萬四千圓) 藤岡町地内新町鬼石線(二千五百圓)

◇三山聯絡自動車道路 伊香保榛名線の一部擴張(三萬圓) 妙義榛名聯絡八本松安中線の碓氷郡秋間村地内風戸峠(一萬圓) 澁川安中線勢多郡横野村地内(一萬圓)

◇省營バス路線 吾妻郡長野原町より嬬戀村地内長野縣境まで(十六萬圓、内十萬圓は縣費支辨六萬圓は鐵道省負擔)

◇國立公園道路 日光沼田線九沼菅沼間未改修地の完成費(三萬圓) 寶川線、利根郡水上村地内(一萬圓) その他桐生市内桐生西桐生停車場線擴張改修工事(二萬六千圓)

埼玉縣皆野橋の開通

埼玉縣秩父郡皆野町地先皆野の縣道荒川

に架設の皆野橋は今回竣工したるを以て四月十七日其の開通式を舉行した、元來橋梁なかりし時代では兩岸町村のいがみ合が絶へなかつたが架橋の完成に依つて感情頓に和らぎその睨み合は斷然解消した。

秩父を拓く正丸峠の開鑿

埼玉縣内秩父と入間平原を通して東京と結ぶ正丸峠の開鑿は愈本年度中に完成を告ぐることとなつた。同工事は七年度から總工費二十五萬圓で延長一一、九一三米幅員四・四五米の縣道開鑿に着手し秩父郡芦ヶ久保、入間郡吾野、名栗三ヶ村に亘る擴張改良工事を秩父、入間兩方面から進め九年度までに八割弱を竣工するは秩父寄り一、〇〇〇米入間寄り一五〇〇米となりいづれも名栗村地内であるが完成すれば最急勾配十五分の一の自動車道路となり現在鐵道輸送一點張りの秩父との交通は新縣道を合せて二方面となり至大の便益を受けるので秩父、入間の山麓開發と共に秩父の劃期的發展が期待されてゐる。

千葉銚子市の道路網基礎案成る

千葉縣下銚子市では豫ねて都市計畫街路網確立を計畫し調査中なりしが今回下の如き計畫案を得た。即ち、

(一) 桔梗屋前から寶滿寺横を抜けてヤマサ前を觀音に出て後飯町大井戸に至る幅員十五メートル、延長千五百メートルの線を横の基幹線とし(二) 利根川海岸道路より一直線に市役所前を経て妙福寺横に出て名洗に至る幅員十メートル、延長三千二百米の線を縦の幹線としてこれは縦横の枝線を配し(三) 川口より黒生、海鹿島、君ヶ濱、犬吠、長崎、外川、名洗、三崎の海岸線を經て七ツ池に出て松岸に至る幅員十メートルの循環道路(四) 清川町より春日町の一部を經て大懸台下を松岸に至る線(五) その線と鐵道線路の中間を清川町から松岸に至る線(六) 土木出張所前より西小學校地側を經て松岸に至る何れも幅員十米の路線を新設、都心を觀音付近として四方八方へ放射的に枝線を設けるものでこの街路網計畫により市は近代的な港灣都市とし遊覽都

市として又産業都市として將來の飛躍を約束され青年市の前途は洋々と展げゆくであらうと期待されてゐる。

千葉縣道秋元千倉線の完成

千葉縣安房郡千倉町から房州を縦斷し君津郡秋元村を結ぶ縣道は有名な難工事といはれて居り丸村大井、念佛松附近の工事も完成し四月二十六日盛大な開通式を舉行した。元來此工事は明治二十年頃始めて計畫され以來十七ヶ年計畫、十三ヶ年計畫の中に入りながら取り殘され昭和九年度工事として最後に殘つた念佛松の難所を突破し完成したものでこの開通から尤も恩恵を蒙るものは丸村大井百六十戸の部落民だ大井部落は丁度房州の中心で八方山に圍まれて別天地をなして居り、百町歩の田畑一千餘町歩の山林から産れる物産も搬出困難のためこれまでは無價値同様に扱はれて居た所が縣道開通と共に年産三十萬個以上といはれる大井柿はコロ柿として東京に出荷計畫が建てられ又缺員の駐在巡查も赴任するなど種々の文化施設が流れこんである、村でもこれを機會に房州の屋根といはれる菱宕山

ハイキングコースを宣傳すべく計畫してゐる。

東京市内六萬本の街路樹

の姿

東京市内街路の延長二百キロに亘り往き來るさの人々を樂しましめる街路樹約六萬本を算し其の種類と代表的場所を紹介すれば下の如きものである。

- ◇すゞかけ(篠懸木、プラタナス)……古いのは日比谷から永田町及び青山通り等全部で二萬五千本
- ◇いてふ(公樹孫)……馬場先門から和田倉門、昭和通り、明治神宮裏參道等で千六百本
- ◇にせあかしや……大手門から九段下に至るお濠の環線等で五千本
- ◇さくら……赤坂見付、三宅坂、半藏門、靖國神社に至る街路三千五百本
- ◇たうかへで……四谷鹽町より半藏門間、四谷見付より萬世橋に至、外濠に沿うて二千本
- ◇あをぎり(梧桐)……青山一丁目より六丁目間二千本

◇やなぎ……内濠に沿うて、及び銀座通り
に千五百本

◇カリの木(百合の木、半纏木)……赤坂離宮から日比谷交又點まで約一千本

◇ぼぶら……芝浦、築地明石町通り五百本
◇いぬゑんじゆ(穠槐)……銀座仲通り五百本

本
◇とちのき(枌の木、マロニエ)……芝虎ノ門から櫻田門間の國道に四百本

◇とねりこ……銀座仲通りに三百本
◇ゑんじゆ(槐)……帝國劇場、京橋區役所

間三百本
◇けやき……明治神宮裏參道に二百五十本

東海道筋一里塚の發見

全國の各街道に人馬憩ひのオアシスとして又道しるべとしての「一里塚」は時の推移に従ひ滅失したが東海道に五箇所も連続してゐる一里塚が發見された、史蹟としても珍らしいものである、所は日本橋から數へて第二十五番目の箱根山の山中靜岡縣因方郡施行平を始めとし西方、岡村笹原新田、塚原新田、同縣駿東郡清水村玉井寺、沼津市四枝神社前の五ヶ所に順序殘留して居る

松並木の街道に殘る交通文化變遷の記念物として保存すべきものである。

北陸地方

新潟縣下白馬登山道の開鑿

新潟縣西頸城郡小瀧村では白馬一帯が國立公園となつたので登山に便せんが爲めに大字山の坊から朝日に至る登山道路を開鑿することに決し其の達成に努力することとなつた。

富山縣下道路橋梁改良事業

富山縣下時局巨救事業の後始末とも見るべき農村應急土木事業十八萬五千圓のうち第二期道路橋梁改良事業を十萬五千圓で實施することとなつた其内譯は左の通りである。

- 滑川上市間 七、四八〇圓
- 上市大岩間 六、〇〇〇
- 新湊中田間 一六、四七〇
- 富山出町間 一九、五〇〇
- 富山八尾間 一〇、七九〇

福澤富山間 一、一五〇〇
 魚津上市間 九、一四〇
 雜費 一、〇〇〇

なほ右區間の道路改修は勿論局部的には橋梁も相當改修する意向である。

東山地方

長野縣下篠井、中津間と篠井枕瀨下間の國道は今回美事に完成したが枕瀨下戸倉間も工費二十四萬圓を以て施工中であるが將來軍用道路として活用せらるゝとの事である。

岐阜長野の兩縣に跨る

安房峠の改修

岐阜縣平湯温泉と長野縣上方地とを結ぶ日本アルプス觀光道路中の安房峠は改修工事施行で其の總延長十六キロも全部完成の上は頗る便益を得らるゝことである。

東海地方

三重縣宇治橋への舊國道鋪裝

三重縣宇治山田市浦田町御幸通交又點から新宮司廳前を経て宇治橋に至る舊國道は近々アスファルト鋪裝工事を施すこととなつた、其の延長四百二十間幅員四間で工費一萬五千餘圓を要する、完成の曉は宇治一帯の面目は一新すること疑なし。

近畿地方

滋賀縣の今濱橋竣工

滋賀縣野州郡速野村字今濱の縣道江頭木濱線に架設した今濱橋は今回竣工し産業と交通の新使命をもたらしこととなつたので五月四日開通式を舉行した、橋の延長三百六十尺幅十七尺二、鐵筋コンクリート工費三萬七百六十圓を要したものだ。

中川原の芹川橋の竣工

滋賀縣犬上郡久徳村中川原の芹川橋は立派に完成したので五月十三日盛大な渡橋式

を舉行した。

鳩湖周遊道路の最難關隧道の開鑿

滋賀縣下絶景地大崎湖岸隧道工事は觀光上にも交通上にも劃期的の福音をもちたらず、木之本線の大崎湖岸道路は大なる待望裡に工事を急いでおる、就中六ヶ所の隧道は着々進捗し遠からず完成するであらう、各隧道は夫れ々眺望環境に特質をもつてゐる。

京都府土木部主任官會議

開催

京都府に於ては、昨年九月の風水害を受け、之れが復舊に、復興に最善の努力を盡し目下着々その復舊の促進を圖つてゐるが、就中府土木部の所管に屬する道路、河川、橋梁、港灣、砂防等の災害土木復舊工事に付ては、中川土木部長の方針に則り、統制ある復舊事業の執行と、その敏速なる復舊工事の完成を圖るを第一義として、土木部員は設計に、監督に、將又指導に寧日なき努力を重ね既に昭和九年度に於て一部災害工

事の復舊も完成したる部分あるも、鈴木知事、中川土木部長は此の現状に鑑み尙一面繁盛せる土木行政の圓滑なる運用を期する爲、本年四月一日管内土木事務所の管轄區域を改め、新に四ヶ所の土木事務所を増設して夫々勤續所員の配置を見、茲に土木部としその内容を充實したのである。

而しながら昭和十年度、昭和十一年度に於て執行完成すべき災害土木復舊工事六十二萬圓、その施行箇所三千個所を數ふるの現状と、昭和十年度に於て執行すべき、臨時部、經營部に屬する土木事業、町村補助工事、時局匡救事業等の施行箇所を見れば、實に五千を超える状態にして、一日も忽にすることの出来ない關係にあり所謂土木部としての非常時に直面せるを以て、中川土木部長は此の現状に照し、土木部員の自覺を起喚する爲五月一日、二日の當日に亘り嘗つて本府に見ざる土木の各課主任者及土木事務長、同局上席書記等六十五名を府正廳に召集して、土木部主任官會議を開催したのである、時恰も鈴木知事は長官會議の間際なると一面天長佳節の爲東上參賀せるも、此の土木部主任官會議に際し急據

歸任して、土木行政の特殊關係、事務の能率、綱紀の肅正、事業の執行等につき親數訓示を與へ直ちに東上せるなど實に急場を凌ぐ多忙さを見、その會議としての緊張を一段と高ぶらせ、更に中川土木部長より詳細なる訓示を爲したり。

會議の主題としては、諮問事項として、本府の實狀に鑑み土木行政の刷新改善に關する意見を徴し、協議事項、二問を發し夫々検討を試み、中川土木部長は之れを綜合して多數の意見を採り土木部として將來善處する措置を講ずることとし尙指示、注意事項に付ては左の通りにして、佐伯監督課長、中工營課長等之れを説明し、二日間に亘る會議も熱心に之れを完了せり。

(九、五、四 藤原生)

指示事項

- 一、吏員の綱紀肅正に關する件
- 二、土木に關する事件報告並に措置に關する件
- 三、災害復舊土木工事の促進に關する件
- 四、災害復舊工事施行に關する件
- 五、災害復舊費を以て改良工事施行に關する件

六、町村災害土木工事の設計調製及監督に關する件

七、鐵線籠の直接購入と配給に關する件

注意 事項

一、土木に關する報告に關する件

二、道路の改修と電柱其の他工作物の施設に關する件

三、道路工事に因る不用品地、物件調査に關する件

四、廢道敷拂下申請に添付すべき調査に關する件

五、道路取締に關する件

六、河川取締に關する件

七、町村土木費補助申請に關する件

八、工事費豫算流用に關する件

九、工事起工稟議に關する件

十、設計變更に關する件

十一、工事竣功期日勵行に關する件

十二、工事施行中止命令に關する件

十三、工事に關する報告書提出に關する件

十四、府工事請負金及町村土木費補助金交付に關する件

十五、經理に關する件

京都市宇治川觀月橋の架換

京都、奈良間國道の宇治川觀月橋は京都市で十九萬九千圓で施工することとなつた

京都府下宮津町本通の鋪裝

京都府道宮津、久美濱線中の宮津町本通の改修工事は着々進捗して居るが本町通は宮津のメイン・ストリートで路幅擴張により商家も改築し路面は鋪裝に依つて面目を一新し美しい商店街を出現するであらう

大阪府交通安全の基礎調査

大阪府交通線では「危険のない道路」を實現すべく根本的交通安全対策を調査することを企圖し其の基礎的調査を爲すこととなつた。その要綱は、

- 一、交通量調査で大阪市内の交通信號設置交叉點六十三ヶ所、交通専務巡查配置、手振信號交叉點十六ヶ所、市内主要の鐵道並に軌道踏切十ヶ所、合計八十三ヶ所について自動車、自轉車、牛馬車、歩行者の交通量を五月から七月まで調査を行ふ。
- 二、道路擴張または交通施設の改善などを

必要とする現在大阪市内には舊慣による約五百の露店(夜店)場所が各所に散在してゐて交通上障碍を及ぼすところ少なからずそのうち露店場所の出願はますます増加する傾向にあり、これが取締の方針を定めたるため露店場所の交通状態から商人數、その種別、賣上高や生活状況などを八、九兩月にかけて調査する。

三、交通慘禍の大半は自動車事故でこれは運轉の過勞から運轉中居眠りなどをして事故を起すものが多いので、まづ運轉手自身の生活状態を調べることだと十月から明年三月まで六ヶ月間府下一萬六千八百名の運轉手について、

イ、雇主との雇傭關係。ロ、業務に服する時間及び休養日數。ハ、交通事故發生の場合の負擔額。ニ、一ヶ月間の收入及び生活費と貯金額などを一人殘さず調査することになつた。

阪神間大循環路の新設

大阪灣を圍む都市としては現在大阪、神戸兩市を中心に尼崎、西宮、堺、岸和田の四市が砲列を布いてゐるがこれらの各都市

間にはそれ／＼市に準ずべき町がありわが國産業プロックの本格的發展のためにこれらの沿岸都市を一聯とする産業交通網の完成がまづ第一の急務であるといふのがこの沿岸綜合都市計畫の主眼目である、このため大阪、兵庫兩府縣當局ではそれ／＼道路網の統制聯絡については再三合議を續け、産業路線網の確立を計つてゐたが大阪府都計課ではいよ／＼この實現の第一歩として大阪を中心に三十キロの半径をもつて描いた圓周の弧に沿ひ大阪灣を繞る數條の交通動脈路線ならびに現在完成に近づきつゝある大阪府十大放射路線を一躍倍加して二十大放射路線網の完成を急ぐこととなつた、阪神兩都をつなぐ路線としては現在の阪神國道をはじめ府縣道、大阪、伊丹線を延長して阪神山手住宅地帯を貫通する一線及び府縣道傳法尼崎線を延長して阪神をつなぐ一線、更にこの南部海岸線に一線合計四線のほか、

神戸―再度山―摩耶山―六甲山上―寶塚―池田を経て大阪府下三島郡山田村から南下、中河内郡八尾町から狭山池畔を経て岸和田市に入る大阪灣沿岸大迂回ルー

トを新計するもので、また前記のルートのうち豊能郡壹野村から分岐して次の二循環ルートをも開設する。

今宮―枚方―妙見―生駒―明神山―園分―長野―岸和田―今宮―私部―枚岡―道明寺―富田林―長野―岸和田
これらの循環道路はいづれも阪神兩都近郊の横斷的産業交通の完成を約束するもので、この結果現在都心偏重の弊に陥つてゐる交通網を是正し圓満な阪神都市プロックの發展を期する、また大阪府都計十六放射路線もいよ／＼昭和十三年度を以て全部完成するので府では將來の發展に鑑み新たにこれらの放射路線の隙を貫く新十大放射路線の開設を計畫し合せて二十六放射路線網として將來の大大阪産業、交通を背負ふ重大使命につかせようとするものである。

淡路島産業道路の復舊

淡路島を縱斷する幅員六メートル半、總延長三十二キロ、工費約二百萬圓と稱せられてゐるいはゆる淡路島縱貫産業道路たる國道二十一號線、並に神戸、洲本線は洲本

縣土木出張所で諸準備全くなつて地元町村の負擔金その他の關係を残すのみとなつてゐた矢先突如昨秋の大風水害で頓挫を來すにいたつたが土木出張所ではこれを好機として部分的に改修を兼ねた復舊工事として工事を進めつゝあつたが今回内務省より改修と復舊加味した工事として本線工事を着手して差支へなき旨の正式通牒が到着、いよいよ今夏より産業道路の本格的工事に着手する段取りとなつた。延長は一萬四百六十三メートルで工費四十五萬圓、岩屋、浦釜口、佐野、志筑、鹽田、中川原、洲本、出良の沿線九ヶ町村が含まれてゐる。

兵庫縣下道路共進會

兵庫縣は道路愛護の精神を一般に徹底せしむるため數年來毎年道路共進會を開催し道路の維持修繕につき事績優秀なるものを知事より表彰して來たが昭和九年度の道路共進會の成績は二十三日發表、優良なるものには表彰狀、賞金を授與した、九年度の參加團體は四百十參加人員二十五萬九千四百六十七名、參加地域内道路延長千百五十九萬六千二百七十八メートル、作業延人員七

十四萬九千四百六十八名、作業延時間二百四十一萬五千八百八十五時間（換算日數三十三萬八千四百七十七日）授賞團體一等十八、二等三十三、三等六十四、四等七十八、五等六十六、計二百五十九、授賞率六割四分、郡市別において授賞率最も高きは加西郡の百パーセント、川邊郡の九割五分、印南郡の八割五分の順位である、一等授賞團は左の通り。

一等 川邊郡六瀬村道路愛護會、同西谷村愛護會△有馬郡高平村道路愛護會、同本庄村道路愛護會△明石郡玉津村道路愛護團△美憂郡北谷戸村戸主會、軍人會、青年團△加東郡上東條村道路愛護團△加古郡加古新村道路愛護團、飾磨郡英賀保村道路團△神崎郡福崎町道路團△佐用郡長谷村道路愛護團△神崎郡香住町道路愛護團、日高町道路愛護團△出石郡室埴村道路愛護團、養母村道路愛護團△朝來郡東河道路愛護會△美方郡射添村道路愛護會△水上郡前山村道路愛護會△多紀郡味岡村戸主會
個人表彰 水上郡春日野村杉本定吉△有馬郡山口村辻高三郎

少年表彰多紀郡後川村部落學校△加西郡大和村少年團△揖保郡神岡少年赤十字團△神崎郡船津少年赤十字團

なほ縣當局は同日修路工夫選奨規程により西宮出張所松尾龜吉氏ほか六十四名をも表彰した。

和歌山縣道路愛護の獎勵

和歌山縣では町村道路改修の要求に應ぜんとするには縣豫算が乏しいので今回在郷軍人、青年團などで修路團を組織し、奉仕による自治的民間修繕を獎勵し、一時はこの修路團が縣下に八十餘團體もあつたが最近は殆ど有名無實となつてしまつたので、新しく道路愛護會を縣下に普及し縣市町村道の保全修理に努めることとなり道路愛護規定を制定、二十三日縣報をもつて公布し、同時に廳兩知事から道路愛護に關する諭告を發した。

この道路愛護會は市町村を單位とし、在郷軍分會、青年團、消防組戸主會等で組織し、路面の保持、排水の整備及び道路附屬物の保全、交通障碍物の整理、非常災害における防備、道路愛護思想の普及などの事業

を行ひ一ヶ年ごとにこの成績を審査して獎勵金を交付し表彰することとなつてゐる。

中國地方

鳥取縣黒板橋の改架

鳥取縣日野郡黒坂村地内日野川に架する黒坂橋は昨秋の風水害で流失しが今回工費二萬七千八百圓で、延長八十米、有效幅員五米半ベルベール式鐵筋コンクリート橋を架することとなつた。

岡山縣下志戸坂トンネル

の開通

岡山縣英田郡西粟倉村坂根から鳥取縣八頭郡駒歸に通ずる險難の志戸坂隧道は工費三十二萬圓で一昨年來施行中であつたが昨秋の大暴風雨で大崩潰を來たし車馬の交通杜絶しておつたが更に工費二萬五千圓で施工することとなつた、險難の峠の開鑿完成は實に作州路から因州路に通ずる光明の扉を開かるるので交通産業の便益は他に多く其の例を見ざる所である。

島根縣野立橋の改架

島根縣新川郡出雨村大津村入會第十八號國道斐伊川に架する神立橋は工費三十五萬圓を以て延長四一、七二米幅七・五米の架橋工事を施すこととなつた。

四國地方

徳島縣道路工夫長の設置

徳島縣では土木行政刷新の一端として縣下各地に施行中の土木事業従業工夫の能率を何等かの善策をもつて可及的に向上増進せしめるに腐心した結果今回各土木出張所管内の修路工夫中より各一名宛の模範工を選び出しこれを工夫長と名付けて工事現場の監督と指導にあたらしめることとなりさらに優秀なるものに對しては知事より表彰することの決定を見た、なほ道路法發布日の十一月八日を毎年「道路愛護デー」と定めて道路愛護に關する各種行事を催し一般に主旨の徹底と普及を計ることとなつた。

香川縣バス道路の長瀬橋架設

香川縣下觀音寺と琴平間省線バス路線中の長瀬橋架設は縣と鐵道省との交渉調ひ愈架することとなつた、なほ高松琴平線の岡田栗熊間(千七百六十メートル)および國道二十三號線善通寺琴平間(二千二百四十メートル)の兩路線の農村應急鋪裝工事の設計變更の件も同時に認可となつた。

國道二十二號線の改修

香川縣高松、八栗間を走る觀光道路の内詰田川の架橋を含む木太村古高松間の國道二十二號線はいよゝゝ工費十萬圓を以て着工することとなつた。

愛媛縣國道改良の地方民就勞

愛媛縣内國道二十四號線改修工事は愈着工することとなつたが就勞人員は七萬人其の勞銀は約六萬圓で改修費十七萬圓の三分の一以上を占めてゐる、之が就勞人員募集に關しては災害救済の意味も含まれるので

多くは地元民を使役する方針である、それで一ヶ月五千人以上を使用するから相當地元を潤ふすこととなるは疑はない。

高知縣姬倉月見山の登山道路の竣工

高知縣香郡岸本町では同町の持つ古跡として有名な姫倉月見山への登山道路を七、八、九の三ヶ年間繼續の時局匡救事業として延長六百五十米幅九尺の立派な車道を竣工した、夫れで五月二十一日其の竣工式を舉行した。

高知縣下沈下橋竣工す

高知縣道宮内、久和線中高岡郡松葉川村一斗儀、米の川間の城鼻沈下橋及び勝賀野三橋は昭和九年十一月以降施工中の處今回落成したので其竣工式を四月二十七日舉行した同城鼻沈下橋は元渡船場であつた箇所架橋せられるもので一斗儀からの通學兒童の出水時の臨時休校もなくなり往復の危惧は一掃され運輸交通に一大革新を來し之に依り産業の進展に裨益するところ甚大である、同橋は幅員二米八〇、長さ六十二米

六で本年三月末落成の豫定であつたが中途で難工事に遭遇し日夜不眠不休當事者の涙ぐましき努力によつて、漸く今回竣工を見られたものである。

青年を中心の道路愛護組合

高知縣ではさきに道路愛護、治水施工保全獎勵規定を定めて、告示するとともに泊知事から告諭を發して、各地元市町村民の協力一致を強調したがこれに刺澁されて各市町村の青年團、處女會等を中心として道路愛護組合の結成を計るもの相ついで現はれつゝあるので縣では優良なるものに對しては獎勵金を交付すべく具體案を練つてゐる、なほ單に文書の上のみの告諭や告示では主旨の徹底を計り難いとあつて泊知事や山内總務、渡邊經濟の各部長が、自ら道路愛護の第一線に立つべく計畫を進めてをり、今後は歛を手にして額に汗する縣首腦部連の姿が時々見受けられることであらう。

高知縣物部川下橋の渡初め

高知縣香美郡吉川村と三島村を繼ぐ縣道路物部川下橋は工費一萬二千圓を投じ昨年十

二月から架設工事中であつたがこのたび竣工したので十八日午前十時から盛大な竣工式を舉行、渡り初をした開通後は小型バスも通ふことになつてをり高知市へ通ずる近道として待望久しかつたもので關係地方民の喜びは一方でない。

高知縣道井尻、古味間の

難工の完成

高知縣々道本川・本山線井尻古味間延長一萬五百二十米幅員二・八米の難工事は總工費一萬五千六百二十五圓で完成した、吉野川の清流に沿ふて白瀧鐵山見物に鮎漁にドライブする日が出現した。

高知縣下三崎の城ノ峯道

の竣工

高知縣幡多郡三崎下の段城の峯道に明治三十三年以來の繼續的工事で去十三日其竣工式が行はれたが此道路は下ノ段から益野を経て清水町に通ずる里でなほ田ノ内四十町歩の耕作道で従來人馬のみ通ずる坂道であつたが延長六百間、内隧道二十七間、幅九尺の車輛をも通ずる良い道となつた、之

れに關しては涙ぐましき譚がある則ち、明治三十三年頃下ノ段義俠團が提唱して細川榮助氏の荒地一反五畝歩を開墾して其勞金の一部を貯蓄して四十四年に田ノ内耕地整理監督岡村武吉氏に測量を乞ひ昭和三年三月下ノ段部落總會で愈々着手することとなり尚工事を變更して隧道として同年十一月橋詰縣土木技手に再度測量設計を乞ひ昭和四年三月起工、昭和八年まで繼續し農閑、祭日、休日などを利用して寄付人夫で工事を倦まず撻まずなし昭和八年十一月宮崎沖三郎氏を代表として匡救事業の補助申請許可を受け約工費五千圓縣の補助二千五百圓を得田口村松岡寅太郎氏隧道二十七間の工事を請負ひしが堅牢なる大岩石で極めて難工事であつたが熱心誠實なる松岡氏は缺損を見越して遂に竣工せしめた委員長は岡崎彌三氏で未だ一般に工事に對する熱もない時分種々の困難に遭遇したが義俠團および青年團から出た各二名の委員と共に繼續して縣の補助を受くるに至り委員長に細川駒次郎氏、委員に宮崎泉三郎、岡崎善太郎、岡崎卷次三氏の外義俠團および青年團各二名交代で竣工まで右八名は前委員通り無報

酬で努力した委員長細川氏は其間毎日人夫を督勵して現場に出張計畫監督に怠らず今日竣工を見るまでの苦心は一般の認むる處で會計はその道に明るい矢野川修氏、また細川錦二氏は一家五名の軍人を出し表彰を受け尙公共に富みこの工事に對しては率先して東奔西走し表彰に値する奇特の有爲青年である、縣から補助の外に村から百五十圓、平段部落は各戸一人、青年團からも援助し下段部落から工事の初めから計算すれば各戸數十人になつてをり義侠團と青年團の努力は永年に涉つて多大の經費と努力を使ひ殊に輿論の喚起までは非常に隠れた努力がある尙夫役として岡崎與之助、岡崎龜太郎兩氏の如きは七十餘歳で老體にもかかわらず献身的に力めたことは特殊の美談である。

九州地方

福岡縣下城山倉良線道の

開通

福岡縣下筑紫村地内城山倉良線は昭和七

地方通信

年度からの三ヶ年繼續工事中であつたが此の程竣工したので四月八日盛大な開通を舉行した。

熊本縣阿蘇登山觀光道の 完成

熊本縣熊本市外室蘭を起點として内牧町に通ずる阿蘇登山觀光道路は殆んど完成した、この道路の幅員は全線三間にてこれが全通の曉には熊本より幾多途中の景勝地を賞でつゝ阿蘇山に至る待望の觀光道路が完成する譯で汽車便にて沿線の單調さをおかこつ登山者は自動車にてこの道を選んだなら變轉極まりなき平原美、溪谷美、深山美に接することが出来る譯で非常な期待をかけられてゐるものである。

熊本縣下大坪橋の開通

熊本縣鹿本郡山鹿町の大坪橋は架橋工事中の處漸く落成したるを以て四月五日盛大なる開通式が舉行せられた。

宮崎縣延岡の大瀬橋架換

宮崎縣延岡市大瀬橋の架換は板田橋に引

き續きいよいよ着工されることとなつた、延長二百三十米幅員十一米、本橋の完成は工業都市たる水郷の面目を一新することとなるであらう。

朝鮮地方

京城鍾路に光りの街路燈

京城府鮮人側唯一の目披通たる鍾路通は最近水保ビルをはじめ巨大なビルディングが續々と群立、全く面目を一新しつゝあるが、このモダン街路の夜を飾る街燈はいよいよ五月一日からデビューすることになつた、光化門通十字路から鍾路三丁目交又點まで約八丁間一燈百五十ワット、一基三百ワットの街燈が美々しく並び京城の銀座本町通と妍を競ふことになる。

産業道路麻浦線の美装工事完成

京城府西大門外から麻浦に至る道路は工費七十萬圓で昨年四月から工事中であつたが、この二十四日鋪装工事(總鋪裝面積一

萬八千平方メートル)の終了をもつてま
たく完成した、同道路は幅員十五メートル、
延長六キロにわたる堂々たるもので京城往
十里間、京城清凉里間、京城永登浦間の道
路工事は昭和九、十年に完成し、今回麻浦
線の改修工事の完成により京城を中心とす
る郊外地への産業道路は全部改修されたわ
けで交通上著るしく利便をうけることにな
つた。

國境の警備道建設

本年度に實施される國費道路橋梁建設工
事は總工費二百萬圓で鮮滿幹線道路を結ぶ
國際橋梁の架設をはじめ北鮮開拓および國
境警備道路の建設など國境地帯に主力を注
ぐことになつたが、實施計畫の内容は左の
通り、

國境警備道路 九十萬圓をもつて義州、惠
山鎮および雲山、楚山線の建設工事を
行ふ、この延長は七十七キロ

北鮮開拓道路 三十六萬圓をもつて長津惠
山線、茂山、惠山線および新加波、遼川
線、茂山慶興線を建設、この延長四十キ
ロ

國際橋梁 慶源と稷城の二ヶ所に國際橋梁
を架設す。

臺灣地方

臺南の巨橋竣工相次ぐ

臺南民の理解と貴き努力奉仕に依りて臺
南洲下の延長六百餘里に亘る産業道路網開
鑿は着々進捗中で左の四大橋の如き交通史
上に不滅の光彩を添ゆるものである。此の
新設特大橋はいづれも三ヶ年繼續事業とし
て昭和七年末起工されたもので、近代式鐵
筋コンクリートの橋脚を備へ重量輸送に耐
へ得る鋼鐵製橋桁を架しその有效幅員は四
メートル(曾文溪架橋は特に五メートル五
〇)に制定されその内容は左の通り。

曾文溪架橋 延長八百八十メートル、人道
橋としては現在全島最長なもので中央道
路臺南、北門を聯絡しこのほど竣工す。
八掌溪架橋 延長二百四十メートル、人道
橋に輕便鐵道を併用した特色を持つてゐ
る中央道路新營、布袋間をつなぎ竣工工
程九分九厘

朴子溪架橋 延長二百二十メートル、嘉義、
頂東石間を聯絡する工程九分二厘
牛稠溪架橋 延長二百メートル、朴子北港
線を接續するものである。

以上の四大橋はいづれも橋體竣工し橋面
の鋪装仕上げが殘されてゐるばかりであ
る、本橋のうみの親たる今川知事は目下こ
れらの橋名につき熟慮中である、以上のほ
かに架橋工事中のものは、

嘉義、中浦道を結ぶ八美溪架橋(延長二
百メートル)荊桐七道を結ぶ北港架橋(同
二百メートル)嘉義、白河線の赤蘭溪橋
(同百四十メートル)をはじめ將軍溪(海
岸線)中挑灣溪(北港新港線)にも延長百
メートルのものが架橋中で十年度には急
水溪(白河、大浦道)新虎尾溪(虎尾、
西螺道)にも架橋豫定で既設の永久橋た
る北港橋(二百廿メートル)平和橋(同
上)月眉潭橋(百八十メートル)昭平橋
(百二十メートル)の四大橋を併せ考へる
とき、

こゝ臺南州は正に橋梁王國の觀があり四
通八達した産業道路網の存在と共に明日へ
の飛躍が固く約束されてゐるといへる。